

<平成 26 年度>

社会教育部の運営方針

社会教育課
文化財課
スポーツ振興課
中央図書館

■ 基本情報 ■

<担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (5) 社会体育及びスポーツクリエーションに関すること。
- (6) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (7) 所管施設の管理運営に関すること。

<部の職員数>H26年4月1日現在

正職員	69名
再任用職員	11名
任期付職員	60名
非常勤職員	12名
合計	152名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■ 基本方針 ■

枚方市教育委員会は、「人とふれあい とともに学び 豊かな心を育む」～子どもたちの健やかな成長と学びを支え、社会を担う人材を育てる～を教育目標としています。（「枚方市教育委員会各部の運営方針」参照）

その中で社会教育部は、「学びを支え心をつなぐ社会教育の推進」、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」、「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービスの充実」を基本目標としています。

平成 26 年度は、「社会教育の推進」、「歴史文化遺産の保存・活用」、「スポーツ施策の推進」、「スポーツ施設の整備」、「市民の生涯学習の支援」、「図書館資料の計画的・系統的な収集」を主要施策とし、社会教育全般の推進を図ります。

I 重点施策・事業

◆ 社会教育の推進

子育てや親のあり方を問う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ機会を提供する社会教育基礎講座等を通じて、人が地域で生きていくために必要な知識や技術を提供します。

◆ 歴史文化遺産の保存・活用

① 特別史跡百済寺跡再整備事業

平成 26 年度に整備工事の実設計などを行い、遺跡保存に影響を及ぼす樹木の伐採などに着手します。

② 文化財啓発普及事業

（東高野街道(出屋敷地区) 整備事業）

東高野街道について、歴史的な佇まいを残す出屋敷地区の景観舗装を行うなど歴史の道として市民に広く周知します。



東高野街道（出屋敷地区）

◆スポーツ施策の推進

トップアスリートとふれあう機会をつくることで子どもたちの夢を育み、青少年のスポーツへの関心を高め、夢と魅力あふれるまちづくりに寄与します。平成26年度は体操とソフトボールのオリンピック選手を招聘し、教室を開催します。

◆スポーツ施設の整備

①春日テニスコートの整備

平成27年度供用開始に向けて、準備を進めます。

②陸上競技場の整備

(公財)日本陸上競技連盟公認の競技場として、公認継続に必要な補改修を行います。



総合スポーツセンター 陸上競技場

③東部スポーツ公園野球場の整備

硬式野球もできる野球場の平成27年度供用開始に向けて準備を進めます。

◆市民の生涯学習の支援

①生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営

生涯学習施設と図書館の複合施設については、市民サービスの向上をめざした指定管理者制度導入に向けた準備を進めるため具体的な課題の整理を行います。

②図書館サービスの充実

有料宅配サービスの実施により市民の利便性向上を図ります。また、図書館来館のきっかけづくりとなる事業の開催など、図書館の魅力を積極的にアピールし、利用者の拡大を図ります。

③学校図書館支援

小中学校に対して、市立図書館資料の団体貸出、学校図書館支援ボランティアの育成等のほか、市立図書館から学校図書館への職員の派遣や司書教諭等への研修を行い、学校図書館支援を推進します。

◆図書館資料の計画的・系統的な収集

図書・雑誌・オーディオビジュアル資料・電子情報等の幅広い情報を計画的・系統的に収集し、提供します。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン(前期)の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
19.市有財産等の有効活用 ④野外活動センター活用計画の策定	進入路整備を踏まえた野外活動センター活用計画の策定に取り組む。
27.市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営体制一元化に向け諸課題の整理を行う。
28.生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	指定管理者制度導入に向け、課題を抽出し、解決策を検討する。
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	(公財)枚方体育協会が策定した「経営プラン」(H24~H28)の検証を踏まえ、行政と体育協会の役割分担等について、方向性の調整を行う。 (公財)枚方市文化財研究調査会に対しては、27年度までに「経営プラン」を策定するようはたらきかけるとともに、行政との役割分担など、課題解決に向け検討する。

44.施設の使用料の見直し ③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設の使用に係る「市立学校園施設開放事業」(管理部所管)と「市立小中学校体育施設開放事業」(社会教育部所管)との事業統合及び電気使用料等の実費相当額の負担について、課題整理を行い、具体化の検討を進める。
--------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(5件 2006万円)
- ◆伊加賀スポーツセンターに指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図ります。(指定管理料 5206万円)

Ⅳ 組織運営・人材育成

◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など様々な分野を担当する社会教育部において、各分野の職員が日常業務を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術の習得を行い、資質の向上を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、職員研修を実施するなど人材育成に努めます。

◆職員一人ひとりが普段から市民目線に立った事務改善を意識し、時間外勤務の縮減など、さらに効果的・効率的な事務執行に努めます。

Ⅴ 広報・情報発信

◆ホームページの充実

わかりやすい表現、事業決定後の迅速な掲載を心がけるなど、社会教育部関係の事業を効果的にPRするための工夫を引き続き検討実施します。また、開催結果などをタイムリーに伝えるなど、ホームページの魅力アップを図ります。

◆効果的な事業PR

広報やホームページだけでなく、関連事業や他の市主催事業など様々な場面を通じて、さらなる事業宣伝活動を行います。また、マスコミへの情報提供を積極的に行い、「教育文化都市ひらかた」を広く発信していきます。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
枚方体育協会体育振興事業補助事業	補助金の使途の明確化を図るとともに、市民スポーツ振興の目的に沿った事業効果がより一層図られるように適切に関与していく。
スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業	体育施設の管理業務における効率化を検討するとともに、モニタリング等を通して適切な管理運営を行っていく。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市民対応における市民満足度の向上	市民等からの社会教育分野における専門的な問合せに対し、各分野において所属職員が同じレベルで対応できるよう引き続き知識や情報の共有化を図る。
省エネ意識の向上	普段から自ら省エネを意識し、事業やイベントにおいても省エネ行動を励行するとともに、所属職員が省エネ行動を励行するよう注意を促す。